

社長の経営哲学の構築にお役立ちする

税理士法人 優和

経営者への活きた言葉

TEL 03-3455-6666
FAX 03-3455-7777

経営者への活きた言葉

リーダーに必要とされる哲学・古典 橋本 孝之（日本IBM名誉相談役）

1. リーダーになる人物は、自分の軸足、価値観を持つことが大事です。そのためにはもっと哲学や古典を学ばねばならない。まずはインプットが必要だと考え、自分なりに勉強しました。世界の経営者が議論し、学び合う場であるアスペン研究所の日本での会議にも参加しました。
2. リーダーは常に決断に迫られます。決断を下す際には、目先の利益や情に流されず、会社で働く社員、組織、さらには会社がかかわる地域を正しい方向に導かねばなりません。大きな責任を負うリーダーの資質として、哲学、具体的に言うと、人間の本質や社会について考察した行動心理学や倫理を含め、人間とは何かを掘り下げた哲学が求められます。
3. 時代を超えて読み継がれる古典は人間の本質を述べています。そこにはネットの世界にあふれるフェイクな情報が入り込む余地はありません。今ほどリーダーに哲学が必要とされる時代はない、そう考えています。

（参考：「日経ビジネス」2019年1月14日号）

ワンポイント経営アドバイス

優れたリーダーに必要な発想力

北方 謙三（作家）

1. 優れたリーダー、組織で重要なのは発想力だと思います。100人いれば100人分の仕事ができると考えるのが普通の人間。100人に200人分の仕事をさせようとするのがリーダーです。組織はやはり人。100人の組織をどういう人で構成していくかで、100人の力が10人にしかなかったり、200人になったりする。だから身内にこだわらず外から人を入れようという発想を持てるかどうかです。
2. 日本の経営者は、発想を新しくするしかないと思います。日産自動車は、ゴーン氏に頼り過ぎであんなことになった。彼が断行したコストカットは、本当に彼しかできなかったのか、きっと日本人にもできたはずです。でも憎まれ役を買って出る人がいなかった。やるべきことをやれば回復できる力が日産にはあったのです。

（参考：「週刊ダイヤモンド」：2019年1月12日号）

人事・労務について

シーズとニーズを結びつける

吉野 彰（旭化成名誉フェロー）

1. 優れた研究をするために大切なことは、自分が持っている知識、あるいは技術といったシーズ（種）と、世の中で必要とされているニーズ、この二つを線で結びつけられただけのことです。ところが厄介なことに、シーズもニーズも日々変化していく。技術というのは日々進化していくので、昨日までは不可能だったことが翌日には可能になることがある。
2. つまり、動いている物同士をどうやって線でつなぐかという、非常に難しい問題なのです。「針の穴を通す」という言葉があります。実際の研究開発ではジェットコースターに乗りながら針の穴に糸を通すようなものです。それくらい難しいことなので、自分の技術レベルを上げていく姿勢が大切です。

（参考：「致知」2019年3月号）

古典に学ぶ

人は他人の習慣を模倣する

（解説）習慣は唯一人の身体にのみ附随しているものではなく、他人に感染するもので、ややもすれば人は他人の習慣を模倣したがる。この他に広まらんとする力は、単に善事の習慣ばかりでなく、悪事の習慣も同様であるから、大いに警戒を要する次第である。

（参考：渋沢栄一「論語と算盤」：国書刊行会）